ぼくのキャンプファイヤー

三年二組　横木　仁

キャンプの前の日の夜、ぼくは、わくわくしながら、リュックの中に荷物をつめました。つめた物は、玩具、水筒、水着、シーツ、昆虫図鑑と虫捕り網です。次の日、ぼくは、わざと遅く起きました。どうしてかというと、早く出発時間になって欲しかったからです。お父さんがレンタカーを取りに行ったので、ぼくは、家の口ビーで待ちました。待つこと数分後、お父さんが戻って来ました。荷物を車に積み終って、いよいよ出発です。

途中で、スーパーマーケットで食

材を買って、それからお昼で飯も買いました。ばく達が泊るコテージまで、四時間かかります。先へ進むと、ビルの景色がどんどん消えて行き、山の景色が見えて来ます。空は、くもってきました。急に小雨が降ってきましたが、数分後、雨は止みました。もうその後は降らなかったので、無事外の景色を見渡せました。途中でいくつかの橋を渡りました。下は崖だったので、とても小布かったです。それから、とても広いとうもろこしの畑が見えてきました。それを見た後、二時間くらい眠ってしまいました。目が覚めると、もうコテージに到着していました。そのコテージは

山の中にポツンとあって、木でできた三角屋根の小さな家でした。そばの岩には、いみつ基地が、ありました。そのすぐ横に、ぶら下がって遊ぶタイヤがありました。コテージの中に入ると、リフォがあって、横にはボールゲームが三つとトランプがありました。もう一回外へ出てみるとヘクルマバッタモドキが一匹でピョンピョンはねていました。ぼくは、虫捕り網でバッタをつかまえて、空の大きな水ボトルがあったので、バッタをボトルの中に入れました。

コテージの前を見るとファイヤーピットがありました。ぼくはお父さんに聞きました。「もうキャンプ

プファイヤーをしてもいいて、しお父
士んは、「いいよ。」と言いました。
ぼくとお父さんは、落ち葉をきれいに積
んでいきマッチを持ってきて、火を付
けて、それを薪と薪の隙間に入れまし
た。キャンプファイヤーの始まりで
す。ほんの少しだけ火がつきました。
木の枝を入れると、どんどん広がっていきます。すぐそばに大きい木が落ちていたので、火にくべようと持ち上げるとナメクジと黒いトカゲを見つけました。だトだん火が大きくなったのでソーセージを焼きました。そのソーセージは、ぱりぱりしていてとてもおいしかったです。次の日には、キャン

プファイヤーに火をおこせるようになりました。最終日には、ぼくは、とても上手なキャンプファイヤー係になりました。火が消えないようにいっぱい木を運びました。こうしてキャンプは終りました。

キャンプは、とてもスリル満点で楽しかったです。このキャンプはぼくにとって三回目でした。キャンプファイヤーのお手伝いができてうれしかったです。

16×16

はじめてのめがね

W校三年四組
菊地由桂

私は、日本で新しいめがねを買ってもらいました。新しいめがねと言っても、私にとって初めてのめがねでした。そのめがねのつるは、うすい茶色と、うすい黄色と、うすいピンク色と、こいピンク色のめいさいがらでした。

さい初、お店でそのめがねを見つけたとき、私はそれがかわいい色できれいだと思いました。けれど、私がそのめがねをかけると、私の母は、うすいピンク色のフレームのせいで、私の頬がさびしく見えると言いまし

た。それで、私は

「こっちのめがねは、どう」。

と聞きました。すると、母は

「さっきよりはいいけど、まだあまりにあわない」。

と言いました。私は心の中で、「じゃ、どれならなっとくするのよぉ」。

と思いました。すると、母が

「これはどう」。

とちがうめがねを持って来ました。

でも、私は「かわいくない」。と思いました。そのめがねは、ただのピンク色でがらがまったくなかったからです。私は、

「あの私が気に入ったためがねがいい」。

と言いました。その後、私は色々な

めがねをためしてみましたが、やっぱりさい初のめがねがよかったので、それを母に言うと、母が私には信じられない事を言ってくれました。

「いいよ。あなたがかけるのだから、あなたが好きなのを買いなさいよ。」

私は、

「やったあ。」

とさけびました。私は、うれしくてうれしくてたまらないぐらいでした。母はお金をはらってくれて、私はいよいよそのめがねが私の物になるのだと感じました。

その夜、私はいいゆめを見ました。それは、私が新しいめがねをかけて学校へ行ったゆめでした。ゆめの中

16×16

の私は、とてもよろこんでスキップをしながら教室に入って行きました。私は、教室にあったかがみをのぞいてみました。新しいめがねは、私にとてもよくにあっていて、先生も友だちもほめてくれました。

朝、目をさまして、学校に行くのが本当に楽しみでした。でも、その日は夏休みでした。

トカゲのジェフィー

L工校　三年一組
畑崎　悠太

お母さんが、だれかと電話で話しをした後、

「来週一週間、トカゲをあずかって面どう見るよ。」

と、言いました。お母さんの友人が一週間旅行にいく間、あずかることになったのです。

「えっ、トカゲー？」

と、ぼくはドキドキしました。実はぼくはこん虫やは虫類をさわったりするのが苦手だからです。

トカゲは、フトアゴヒゲトカゲというしゅ類だと聞いて、インターネ

16×16

ットで調べると、目がキョロッとして頭が大きくあごにギザギザがついた、かわいいトカゲでした。でも、エサはなんと、コオロギ。ぼくのきらいな虫でした。考えただけでも、こわくなりました。

トカゲをうけとる日になりました。お母さんの友人は、

「名前はツェフィーです。」

と言って、ツェフィーをお母さんの手のひらにのせました。

「かわいいねー。」

と、お母さんがうれしそうだったので、ぼくもさわってみると、見た目より大人しく、やわらかく、かわいいヤツでした。でも小さな虫カゴの

中でエサのコオロギがぴょんぴょんとびはねているのを見て、気持ちがどすーんとなりました。

ツェフィーは、ほとんど動かないで、自分の目の前にコオロギがはねて来た時だけのんびりベロを出しました。なかなかとれないので、姉がコオロギをつかまえて、目の前においてやりました。ベロンとベロを出してつかまえ、むしゃむしゃ食べました。三日に一回、温かいお風呂に入れてやりました。気持ちよさそうに目をつぶりました。

やっとツェフィーとなかよくなっ

たころ、おわかれの日がやってきました。やっと手のひらにのせられるようになったのに。やっとコオロギにもなれたのに。もっといろいろ遊んであげたかった。

ツェフィー、バイバイ。

と、お母さんの友人の手のひらにのせました。ツェフィーはほっとした顔をしました。

ツェフィーも知らない家で、きんちょうした一週間だったのだと思います。

シェルターのキャンプ

W校　三年四組
米澤　環

私は、犬をかっていて犬が大好きです。今年の夏休みは、五日間のアニマルシェルターのサマーキャンプにさんかしました。たくさん犬に会えるかなと、とても楽しみでした。

シェルターに着くと、おりに入った犬がたくさんいました。私はすぐにだっこしたり遊んだりできるのかと思いましたが、はじめに、

「人がきらいな犬もいるから、さわってはだめよ。」

と注意されて、少しがっかりしました。

キャンプにさんかしていた子は、知らないアメリカの子ばかりで、友達ができるか少し心配でした。私達は、名ふだのうらに、自分のペットの写真を入れました。私は、となりにすわった子に、

「私のペットの名前はラテだよ。」

と教えてあげました。その子の名前はサラで、ペットの名前はアイレスでした。そして、私達は友達になれました。

キャンプでは、シェルターの動物のことを教えてもらったり、犬やねこのおもちゃやおやつを作ったり、犬におやつをやったり、ゲームをしたりしました。シェルターには、ま

い子になったり、すてられたり、かい主が病気になってかえなくなったり犬がいました。犬が引っこし先でかえなくて、おいていかれた犬もいました。私は、「どうして犬のかえる家に引っこさないのだろう、ひどいな。」と思いました。そして、かい主にいじめられた犬もいました。

ピーナッツという白い犬は、私がおりに近づくと、おりをとびこえそうなくらいのジャンプをしてよろこびます。でも、ピーナッツは、かい主が犬をもういらなくなって、食べ物も水もないきたない箱の中に、ずっととじこめられていたそうです。シェルターの人にきゅう助された時

は、ほねが見えるくらいやせていて、真っ黒だったそうです。私は、ピーナッツが元気になったのはうれしいけれど、ひどい飼い主がいるのを知って、とてもかなしくなりました。

私達は、犬をもらいに来た人にも会いました。新しい飼い主が見つかると、本当によかったと思いました。

私は、シェルターにいた、マックスとテッドという兄弟の犬が大好きになりました。私にすごくなれて、ペロペロなめてきました。私はママがパックスとテッドを家でかえないか、お母さんに聞きました。でも、「かわいそうだけれど、うちは犬は一ぴきしかかえないの」。

16×16

と言われてしまい、がっかりしました。でも、マックスとテッドのために、もっといろいろなことをしてあげたいと思いました。お姉さん達は、さんぽやそうじもしていて、次は、そういう手つだいもしてみたいです。

キャンプのさい後の日、マックスやテッドやピーナッツとおわかれをしました。シェルターの人は、

「いつでも遊びに来てね。」

と言ってくれました。私はまたみんなに会いたいけれど、早くみんなに新しいかい主が見つかりますように、と思いました。

16×16

サッカーの学校対抗試合

W校　三年三組
中川　椋太

二〇一七年六月三日、ぼくがマレーシアにいた時、クラブ活動でサッカーの学校対抗試合をしました。ぼくはその日、とてもきんちょうしました。サッカーの力は強くなかったし、相手の強さも分からなかったからです。試合の前にぼくたちの先生が言いました。

「今日の試合は勝とうが負けようが関係ない。楽しくゲームをするということが目てきだ。」

この言葉がぼくを少し落ちつかせてくれました。みんなそれぞれのポジ

16×16

ションにつきました。ぼくはディフェンダーに決まりました。ピーッと試合開始の笛がなりました。味方がボールを相手チームのゴールめがけてけりました。別の味方がそれを取りましたが、相手にうばわれてしまいました。その相手が自分たちのゴールに向かって走ってきます。ぼくはその相手を止めようと走っていきましたが、右によけられてしまい、止められませんでした。相手チームに一点を取られてしまいました。くやしくてたまりません。次こそは絶対に止めて見せる、と思いました。また味方がボールをけりました。しかし、またまた相手にボールをうば

われてしまいました。こっちに向かって走ってきます。次こそは止めて見せるという思いがまだ心に残っていました。しゅん待って相手がどっちに行くかを見きわめます。相手が右に行ったので自分も右に行きました。すると、ボールをうまく止めることができました。そのまま、味方にパスしました。その味方がまた別の味方にパスしました。その子はシュートしようとしましたが、相手チームのゴールキーパーにけり返されてしまいました。相手チームがボールを取り、ぼくたちのゴールめがけてけってきました。ぼくたちのゴールキーパーはまたまた受け止めら

れませんでした。相手チームが六点目を取った後の事です。相手がセ点目を取ろうとしてこっちに向かってきます。ぼくは相手からボールをうばい、味方にパスしました。味方は別の味方にパスし、その味方は相手チームのゴールめがけて思いっきりけりました。相手チームのゴールキーパーはその速さに目を取られ、ボールを止める事に集中できませんでした。ぼくたちが一点を取りました。とってもうれしく思いました。最後には相手が二点を取り試合が終了しました。結果は八対一で相手チームの大勝利に終わりました。負けたことはとってもくやしかったけど先生

に言われたあの言葉を思いだすとその事はどうでもよくなりました。みんなとってもたのしかったような気持ちで疲れていました。その証こととしてみんな汗だくでした。最後には互いにあくしゅをして少し今の試合の事を話し、みんな帰っていきました。ぼくは今日いろいろな事を学んだという気持ちで満足してました。サッカーがこんなに楽しいとは今まで思いませんでした。サッカーが大事だと教えてくれたのはこの試合です。これからもずっとつづけていきたいです。

16×16

わたしの夏

W校　三年一組

大東　かおる子

わたしには、夏にとてもがんばったとじまんできることがあります。それは水泳です。わたしのすんでいるスカースデールに、夏の間だけできる水泳チームにさんかしたのです。キャンプが始まる7月から朝練が始まります。外のプールで七時三十分から八時十五分まで泳ぎます。早朝のプールの水はとてもつめたくて、寒くて寒くていつも歯ががチガチガチしてしまいました。それでもがんばって毎日泳いでいたのでひら泳ぎが上手になりました。どう手足をのばす

16×16

とすすむのかコツがわかったのだと思います。でも雨の日の朝はとてもつらくてイヤだったけど、全部の泳ぎ方ができるようになったからよかったと思います。

それから、生まれてはじめて大会に出ました。当日はドキドキとワクワクがまじった気持ちになりました。わたしの泳ぐ番になると、もっとドキドキしました。とびこみがにがてだからです。でも何回も練習したからできるとしんじてやりました。そしてなんにも考えないでむちゅうで泳ぎつづけました。さい後まで泳ぎ切ることができました。

わたしは、大会でチームのおうえ

んをするのも大すきでした。

「レッツゴースカースデール。レッツゴー！」。

みんなといっしょに大きな声でさけぶと、チームがぜったいかつと思えました。

コーチのこともとても大すきでした。かのじょは、一番やさしくていつも、

「よくがんばった。よくやった」。

とほめてくれました。まちがえても、

「だいじょうぶだよ」。

といつもはげましてくれました。そう言ってくれるコーチがいたからわたしは、がんばれたんだと思います。本当にいてくれてよかったです。

わたしは、水泳が大すきです。

くいです。水泳でいろいろ学んで上手になって、とてもうれしかったです。

わたしは、いつまでも水泳をやるとけっしんしました。大きくなったら、ぜったいに水泳のオリンピック せんしゅになりたいです。自分のみらいがとても楽しみです。

16×16

日本での楽しいけいけん

W校　三年一組
藤澤綾香

私は、日本に二ヵ月一時り帰国して、とても楽しいけいけんをしました。

私は日本のあい知県、とよ橋市にあるおじいちゃんたちの家に行きました。お母さんが、体けん入学をもうしこんでくれたので、日本の小学校に、かようことができました。うれしかったです。さいしょの日、私はドキドキしていました。なぜなら、はじめてかよう学校だったので、どんな子がいるのかわからなかったからです。

私は、休み時間ときゅう食が一番

好きでした。きゅう食では、マーボー豆ふ、カレー、ひやし中かやコロッケができました。アメリカの学校ではないものばかりで、うれしかったです。

学校には、とても広い運動場があったので、びっくりしました。休み時間には友だちと遊ぶことができました。アメリカより休み時間が多く、日本で新しくできた友だちとたくさん遊ぶことができました。友だちと「しょにじゅんばんに遊具をまわって休み時間をすごしました。

私は学校でそうじをしました。黒板をそうきんでふいたり、ほうきでろうかやかいだんをはいたり、いろ

いろなそうじをけいけんしました。
はじめて小学校でそうじをしたので、
おもしろかったです。ほかのクラス
は手あらい場やトイレのそうじもし
ていました。毎日みんなでそうじを
することは大変なんだなあと思いま
した。
　じゅ業はとくに算数が好きでした。
算数ではストップウォッチを使って、
時間のべん強をしました。グループ
にわかれて、一人が十秒や一分など
時間を決め、その時間がたったと思
ったら、ほかの人は手をあげます。
はかっていた人は、みんなにあって
いたかどうかを教えます。ゲームみ
たいに時間のことを理かいすること

16×16

ができました。

さいごの日は、おわかれがつらかったけれど、みんなが カードや手紙をくれたり、絵をかいてくれたので、うれしかったです。とくにたんにんの先生が色紙ににがおえをかいてくれました。とても上手でした。

私が日本の学校に来て感じたことは、みんな今の私より二倍も三倍もべん強をがんばっていることです。テストの時は、あせらずていねいで、字がとてもきれいでした。私ももっとがんばろうという強い気もちをもつことができました。

また日本に行けたら、たかおか小に行きたいです。

16×16

「弟」

NY補習授業校　三年一組
井野　あいり

二年前のきのう、午前七時四十分わたしたちの新しい家族ができました。

真夜中、わたしは父にとつぜんおこされ、「今すぐ赤ちゃんが生まれそうだから、急いでびょういんへ行くよ。」と言われ、ああ車で行きました。

そして、母はつらそうな表情ながらも少しほほ笑み、「がんばって、元気な赤ちゃんを生んでくるからね。」とわたしと弟に言いました。

この時、不安とうれしさが入り主

16×16

じった気持ちで、なぜかなみだがあふれてきました。

早く赤ちゃんに会いたくて、何度もかいだんをのぼりおりしていました。

うっすらと辺り一面が明るくなり始めた時です。

父が、「元気な男の子が生まれたよ。」と急いで知らせにきました。

わたしは、うれしくてうれしくてたまらない気持ちで赤ちゃんのもとへと走っていました。

この時のかん動は、今でも忘れません。

弟は、二才となりました。いつもあたしについてきます。

時には、いたずらもするしあばれる事もたくさんあります。だけれど、わたしの主ねをしてでんぐりがえしをしたり、音楽にあわせておどるすがたは、とってもいとおしいです。

そして、わたしがないて落ちこんでいる時に、そっとそばに寄ってきて笑顔ではげましてくれる弟は、わたしの一番の宝物です。

さんすうがきらいになった日

L1校　二年二組

上かまじゅじゅ

わたしは、一年生の時は、さんすうがすきでした。もんだいがかんたんで、パパだったけて、おもしろいなと思いました。でも、二年生になって、さんすうがきらいになりました。

ある日、さんすうのじゅ

ぎょうで、メートル、ゼンチメートルや、リットル、デシリットルと言う「たんい」が出てきてから、わけが分からなくなって、さんすうがきらいになりました。

そして、さんすうでつかう、分、分からない言葉が一ぱい出てきました。たとえば「かさ」「めもり」「いくつ分」などの日本語がむずかしくて、なかなかおぼえ

られませんでした。

もう一つ分からなかったのは、長さや水のかさのけいさんです。たんいがばらばらで、足し方が分かりませんでした。まず、おかあさんに、教えてもらって、それでも分からなくて、そしたらおばあちゃんが教えてくれました。でも、けいさんを間ちがえて、「何で分からないの。」と言われました。

た。
わたしは、「だって」
みが分からないんだもん。」
と言って、すごくかなしい
気もちになりました。
今どは、いさおおじさん
が来て、「同じたんいどう
しだったら、足せるよ。」と
やさしく せつ明してくれま
した。わたしは、やっとけ
いさんのやり方が分かりま
した。その時わたしは、も
ういみが分かって、自分は

よくがんばったなあと思いました。

たくさん分からない日本語の言葉が出て来て、頭の中がぐちゃぐちゃになって、さんすうがいやだと思ったけど、長さや水のかさのけいさんが分かってから、まさんすうがすきになりました。

カナディアンロッキー

W校二年四くみ

米川れいな

1でのはっけん

わたしは、夏休みにカナディアンロッキーにりょこうに行きました。そこで、五つのはっけんをしました。

一つ目は、ゴンドラにのったことです。ゴンドラでたい山を上ったのははじめてでした。長い間のっていた。

たので、こわくなりました。
山の上につくと、けしきがきれいで、風がふいてさむかったです。
二つ目は、アパートおんせんに行ったことです。外国でおんせんに入るのははじめてでした。日本とちがって、男の人も女の人も水ぎをきて同じところに入ります。
かぞくみんなでいっしょに入れたので、楽しかったです。

「ただです。

三つ目は、ボートにのったことです。ボートにはわたしたちとボートをこぐ人だけでした。川の水は夏なのにつめたかったです。わたしは、くまが見たかったけど、おとうとがうるさくてくまが見られませんでした。

なぜおとうとのせいかと言うとくまはしずかなところがすきだからです。

四つ目は、コロンビア大ひょうげんに行ったことです。ひょうがの上では、タイヤがわたしのしん長よりも高いバスにのりました。そして、夏でもとけないこおりの上に行きました。こおりの上に行くと本とうにさむかったです。

五つ目は、インドカレーを食べたことです。わたしがとまっていたホテルのと

なりにあるスパイスハット
に行きました。わたしはさ
いしょは、「からそうだな。
と思っていました。でも食
べてみると、本とういおい
しかったです。
わたしはこのりょこうで、
せかいには知らないことが
たくさんあるんだなと思い
ました。
またほかのところにもり
ょこうに行ってみたいです。

ゆめのスリープオーバー

L I 校2年2組

阿タタ　れな

私のゆめは、大親友のアンダーソンとスリープオーバーをすることです。

かんたんだと思うかもしれないけれども、そうではありませんでした。なぜなら月曜日から金曜日は、げん地校があり土曜日はほし

ゆう校だからです。

チャンスは、夏休みでした。
そして7月29日にゆめのスリープオーバーをすることになりました。楽しみだったのでかえってすぐパパに話すと、
「その日は、ヤンキースを見に行く日だよ。」
と言いました。私はしんじられなかったので、
「えっ！本当？」
と言いました。

けっきょく野きゅうの後に行くことになりました。

そしてついにスリープオーバーの日が来ました。野きゅうの間早くスリープオーバーの時間にならないかなとずっと思っていました。アンダーソンの家についた時、早く会いたくてかいだんを五かいまでかけ上がりました。それに気がついたアンダーソンたちは、

「エレナー！エレナー！エレナー！」

と言いながらおりて来て私を見つけるとだきついてきました。一しょにピザを食べたり、犬のさん歩をしたり、セントラルパークに行ったり、あさごはんにドーナッツを食べに行ったりどれもとくべつな時間でさいこうでした。夜は、アンダーソンとキャンベルと手をつ

ないでねました。楽しすぎ
てねむれませんでした。
　ゆめがかなってとてもう
れしかったです。こんどは
私の家でやりたいです。

おにわでテント

W校二年三組
植俊一郎

ぼくの家のにわでキャンプのれんしゅうをしました。

新しいテントを買ったので、本ばんのキャンプのために組み立てるれんしゅうをしました。

まず、お父さんとお母さんがぼうを組み立ててつぎに、ぼうをテントにさし

ました。ぼくは、カナヅチで、ペグを草にさしました。そしたらテントは、ピーンとかっこよく立ちました。

テントの色は、黄みどり、白、グレーです。テントは、6人用で二つへやがあります。入ってすぐに、おくにあるもう一つのへやは、みどのへやがあって、おくねるへやです。中は広くて、大きなまどと、ライトをつ

けるところがあります。

ぼくは、頭につけるライトと、うつうのライト、いもうとは、小さな人形をもって行きました。

お父さんと、いもうとと、ぼくでテントの中でねました。ねぶくろの中は、あつかったです。外のじめんの上は、かたくて体がいたくなりました。夜の外は、しんとしていました。ぼくは

すぐねました。

朝おきると、太ようがまぶしくて、家の中とは、ぜんぜんちがいました。外だからすこしさむかったです。

本ばんのキャンプは、れんしゅうしたからだいじょうぶだと思います。森の中だからどうぶつが出てきそうでどきどきしますが、ワクワクしています。早く行きたいです。

びっくり日本の小学校

L工校　二年一組

金　てお

ぼくは、夏休みに日本の小学校に行きました。二年七組のやすい先生のクラスに入りました。

日本の学校で色いろびっくりしたけれど、一ばんびっくりしたのは、ちょうれいの時間にすごい数のせいとがうんどう場に出て、ま

つすぐなれつをつくっていたことです。きょうしつにもどる時も、まるでへいたいさんみたいにみんないっしょにこうしんしして歩きます。ぼくもがんばってこうしんをしました。

二ばん目にびっくりしたことは、ろうかのそうきんがけでした。ぼくはぞうきんがなにか知りませんでしたろうかの水どうでぞうきんがけでした。

きんをまらって、みんなで
ならんでろうかをふきます。
そうきんがけのレースが一
ばんすきなそうじでした。
　三ばん目にびっくりした
ことは、日本の学校ではお
やつがでないことです。ア
メリカの学校では二時間目
がおわるとプレッツェルを
食べます。おやつがないの
でちょっとがっかりしたけ
ど、日本のきゅうしょくで

ヤクルトやいちごのゼリー
が出たので、おやつがなく
てもいいや。と思いました。
　さいごにびっくりして、
そしてうれしかったことは、
日本の学校で同じクラスだ
ったふじいくんから手紙を
もらったことです。ふじい
くんはぼくの前のせきにす
わっていた友だちで、ラン
ドセルをおく場しょを教え
てくれたり、ぼくをドッジ

ボールにさそってくれたりしました。

ぼくは時どき日本ごのべんきょうがいやだな。と思うこともまるけど、またら1年日本の小学校に行ってふじいくんといっしょにぞうきんがけのレースをしたりドッジボールをしたりできるようにがんばるぞ。と思いました。

ポポちゃん

L工校　二年一組

市川まり

わたしは魚のペットをかっています。名前はポポちゃんです。男の子です。色は赤と黒です。わたしが上からのぞくと、ポポちゃんは上までできて、ごはんがあると思ってロをパクパクするから、ポポと言う名前になりました。

12×12

ポポちゃんはダブルテールと言うしかるいです。おっぱが大きくてヒラヒラがいっぱいあります。赤い波もようみたいです。ポポちゃんをえらんだ理由は一番かわいくて、元気で、色がきれいだったからです。

水そうに茶わんを入れています。ポポちゃんがねて、かくれてあそぶ場所です。

中に入ってじっと上を見て

いま す。ねて いる のかな と
思い ます。
ポポちゃん がび ょう気に
なり ました。おっぽ が ボロ
ボロに なっ てみじ かく なっ
たの です。わたし は ポポち
ゃん がしん じゃう かな と
わくて、心ぱい しまし た。
おくすり を買って、毎日入
れて よくなり ました。今は と
ても元気です。
ポポちゃんはわたしの大

七万な家ぞくです。

「ポポちゃん大すきだよ。」

ふうせんかずら

W校二年二組
神保　多一朗

ぼくは、ふうせんかずらをそだてています。毎日、母といっしょに水をあげているのでどんどんん大きくなります。たねをうえて一か月すぎた朝、

「わぁ、かわいい花がさいている。つるものびてきている。」

と、母はぼくに教えてくれました。

「えっ、ほんとうに。」

ぼくは、はしりながらバルコニーへ行きました。ぼくは、ふうせんかずらを見て、うれしくなりました。花は、白色で小さくてやさしそうにさいています。はっぱは、元気にたくさんはえているので夏のひよけになります。そしてみどりを見

てさわやかな気もちになりました。でも、一つしんぱいなことがあります。それは、朝早くねこがきてはちの中にふんをすることです。

ぼくは、それが大きらいです。なぜかというと、土をほったらくきがたおれたり、おれてしまうからです。

ねこが土をほったら、みがたくさんならないかもしれません。それなので、ぼ

くは、ふうせんかずらをまもるため、バルコニーのかいだんに、ペットボトルをおいてねこをおいだすことにしました。

「これでもう、ねこはこないからだいじょうぶだね。」

と、母に話すと、

「だいじょうぶだよ。」

と、母はこたえました。

ふうせんかずらもあんしてうれしそうです。

うせんかずらのみは、五ミリぐらいの小さなくろいボールに、白いハートのスタンプをおしたようなかわいいみです。ぼくは、ふうせんかずらのみがなるのをたのしみにしています。

ドキドキドライブ

W校　二年一組

岡田　えま

八月のおわりに家ぞくでリビエラ・マヤに行きました。三日目に世界いさんのチチェン・イッツァに行くことになりました。

ホテルを出るとすぐにお父さんが、「ガソリンスタンドがあったら教えてね。」

と言いました。私たちは、車の中で大声でわらったりおかしを食べながらチチェン・イッツァにつくのをたのしみにしていました。

しばらくするとお父さんが、

「一回れいぼう切るよ」。

と言いました。ガソリンメーターを見るとEをさしていました。家ぞくみんながら一言も話さなくなりました。

こんなあつい日に車が止まったらどうしようとしんぱいでした。グーグルマップでスタンドをさがしたけれど、どんどん森の中に行ってしまいました。私が、

「もうだめだよ。」

と言うとお父さんが

「次のかどにスタンドがなかったらアウトだね。ごめん、はじめにガソリン入れておけばよかった。」

と言いました。

私が、

「こんなところにガソリンスタンドがあるわけないよ。」

とおちこんだ時、森の中にとつぜん大きくてきれいなガソリンスタンドが出てきました。

私は、

「たすかったー。」

と思いました。

私たちは、ぶじにチェン・イッツァについて、世界いさんを見ることができてよかったです。

お父さんには言えないけれど、本当はドライブの方がチェン・イッツァよりドキドキしました。

リレーのせんしゅ

W校二年一くみ

おちあい　さおり

うんどう会のさいごのこのリレーがはじまりました。

わたしは三ばんめをはしります。

スタートち点にいこうとしたら、もう前の子がバトンをわたそうとしていたのでいそいでいきました。そして、わたしの前の男の子

が	わ	た	し	に	バ	ト	ン	を	パ	チ	ン
と	わ	た	し	ま	し	た。	わ	た	し	は	
お	も	い	っ	き	り	じ	め	ん	を	け	り
ま	し	た。		コ	ー	ナ	ー	の	と	こ	ろ
で	こ	ろ	び	そ	う	に	な	っ	た	け	れ
ど、		ち	ょ	っ	と	ス	ピ	ー	ド	を	ゆ
る	め	て	あ	し	を	こ	ま	か	く	う	ご
か	し	て、		後	か	ら	ス	ピ	ー	ド	を
は	や	め	ま	し	た。		そ	し	て	コ	ー
ナ	ー	を	は	し	り	お	わ	っ	た	ら、	
す	こ	し	つ	か	れ	て	き	ま	し	た。	
で	も	さ	い	ご	の	力	を	ふ	り	し	ぼ

12×12

「ていきました。そのすぐとなりはわたしのクラスがいたので、みんなわたしのことをおうえんしていましたそのおうえんのおかげでちょっと元気が出てきましたそしてやっとゴールについて、つぎの男の子にはいというてバトンをわたしました。

はしりおわった後、わたはしはは一といきをはいてほ

「としました。　わたしのばんがおわった後、同じオレンジのチームをおうえんしました。」

フラワーガール

Wこうーねんミくみ

なつやすみに、かぞくで

ハワイにいきました。

ハワイについたのが

なぜか、さかまきみか

というと、りえちゃんのけ

っこんしきがあるからです。

りえちゃんというのは、わ

たしのパパのいもうとで

す。

ティアラをつけて、ウェ

ディングドレスをきてい

る

りえちゃんは、プリンセスみたいで、とてもかわいかった。

わたしは、フラワーガールになりました。

おねえちゃんは、リングガールになりました。

おとうとのけんちゃんも、フラワーボーイになるよていでしたけれども、けんちゃんは、はずかしがって、うごきませんでした。けんちゃん

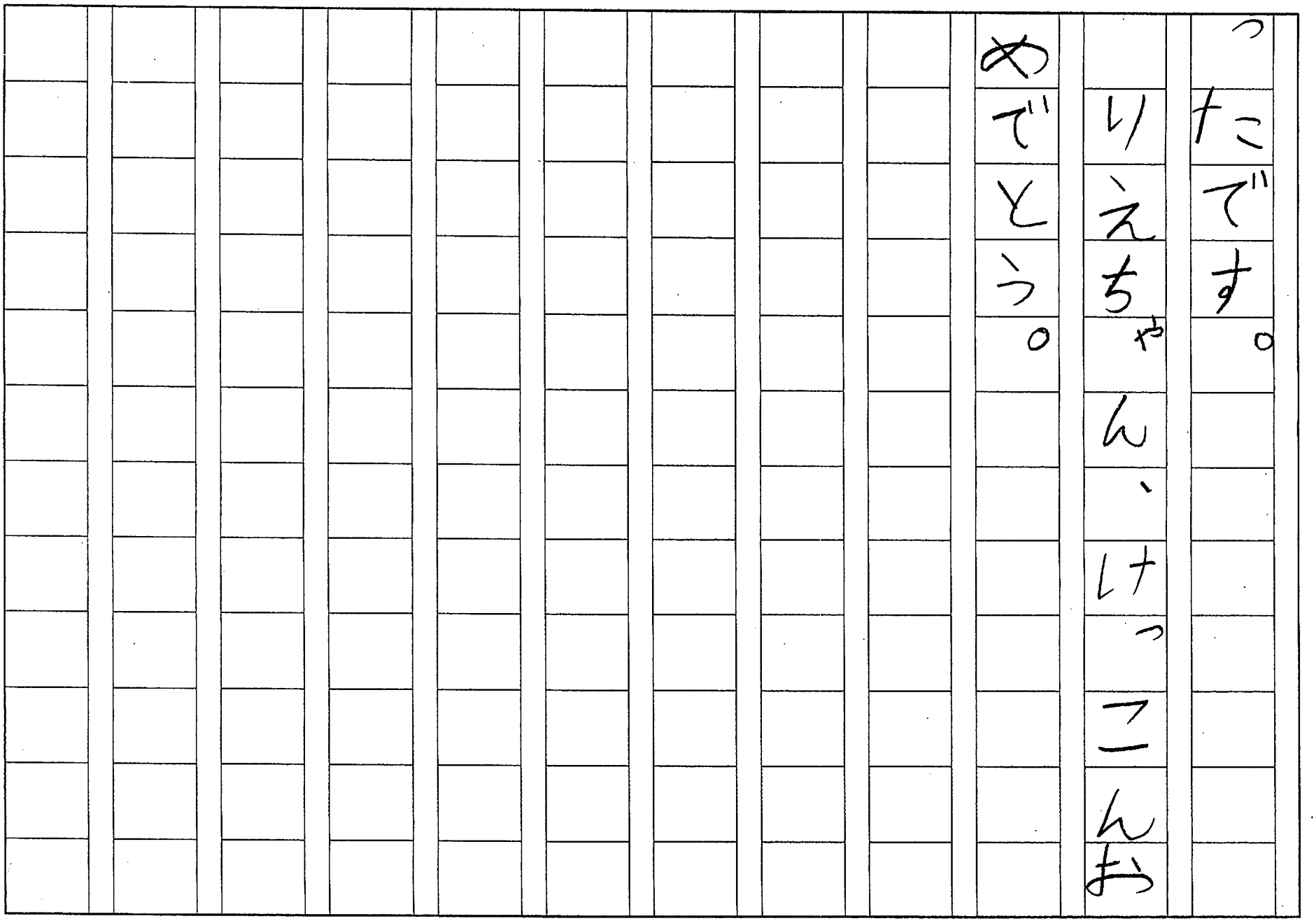
んがっこうごかたながったので、
わたしはびっくりして、どきどきしたけれど、やさしいとフラワーガールがいたのでほっとしました。
フラワーガールをがんばりました。
ありえちゃんのおともだちやしんせきのひとがみんなみていたので、きんちょうしました。けれども、ちゅうもくされて、うれしかったです。

です。

しきがおわってから、おばあちゃんに、

「けんちゃんがとまって、うごかなかったから、みかちゃんもうごかないで、ここまってしまわないかしんぱいしたけれど、みかちゃんはびとりでフラワーガールをつとめて、とてもえらかった。」

と、ほめられて、うれしかった。



12×12

にほんの学校へいく

１校一ねんニくみ

ぼくは七月にあいちけんとよはしにある、ふじさわけんご

とよはしにあるたかお小学校にたいけんにゅうがくをしました。

ぼくはさいしょいきたくなかったです。いじめられるのがしんぱいでした。でも、クラスのおともだちはやさしかったです

学校で一ばんたのしいこと は、うんどうじょうにあるうんていでした。やすみじかんに大きなうんていでおともだちとき ょうそうをしました。

学校ではじめてきゅうしょくをたべました。おいしくたべられませんでした。

よかったけれど、ときどきおかずがらいなきゅうしょくがでました。そのときは、まったくたべられませんでした。

学校のじゅぎょうで虫とりをしました。虫を一ぴきもとれませんでした。一ぴきつかまえたけれどにげてしまいました。おともだちはバッタのあかちゃんをつかまえました。だからみせてもらいました。アメリカでもやりたいです。

そうじもしました。五人でやりましたぼくはほうきでやりました。きれいにきもちやりました。

したあとはきもちよかった
です。
　にほんの学校ではともだ
ちがふえました。だからら
いねんもいきたいです。ま
たせんせいやともだちにあ
いたいです。

ジュラシックワールド
NY補習授業校　一年一組
いの　とうま
ティラノサウルス、ス
ピノサウルス、カルノタウ
ルス、ブラキオサウルス
ぼくの大すきな、きょう
りゅうたちのなまえです。
ぼくが、きょうりゅうを
すきになったのは、三さい
のときです。おばあちゃん
によんでもらったきょうり

12×12

うのしょんがい、きっかけでした。

それから、ぼくはきょうりゅうのことについて、ずかんやテレビ、はくぶつかんでしらべるようになりました。

きょうりゅうについてしればしるほどドキドキ、ワクワクします。

ぼくは、ぜったいきょうりゅうはかせになります。

そして、まだ見つかっていないものがあります。

それは、けんやうりのほねを見つけ、けんやうしたいです。

こどもたちがドキドキワクワクしながらジェットコースターなどのアトラクションをつくることが、ぼくのゆめです。